学校番号	3019

令和８年度　商業科

教科	商業	科目	ＩＴ演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	キタミ式イラストＩＴ塾ＩＴパスポート　令和０８年（技術評論社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報処理技術者試験の１２区分の一つである「ＩＴパスポート」の合格をめざします。１年次の「情報処理」・「簿記」、２年次の「ソフトウェア活用」で学んだ内容を基礎として、ＩＴに関する専門的な知識を習得することが必要です。授業には予習をして臨んでください。授業では練習問題とその解説が中心となります。テキストの他に、過去問題集（Ｗｅｂ公開分）を使用します。

2　学習の到達目標

【知識および技術】
ＩＴパスポートの試験に必要な知識を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
自力で新しい知識を習得するやり方を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
変化の激しい情報社会で働くうえで主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	１年次および２年次の情報に関する科目の学習内容を活用できる。 試験に合格するために必要な知識を身につけている。	コンピュータを使って、試験問題の内容に関するシミュレーションができる。 計算が必要な内容に関して、筆算で答えを導き出すことができる。	新しい知識を習得しようとする。 予習によって、自力で理解できなかった内容を明確にして授業に参加している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	・コンピュータこと始め ・ディジタルデータのあらわし方 ・ファイルとディレクトリー ・ハードディスク ・ＯＳとアプリケーション	・コンピュータの５大装置 ・ＣＰＵ・メモリ・補助記憶装置・入力装置・ディスプレイ・プリンタ・入出力インターフェース ・ディジタル世界は、０と１だけの２進数・２進数の足し算と引き算 ・ビットとバイトとその他の単位・文字の表現方法・画像など、マルティメディア・データの表現方法 ・ファイルとは文書のこと・文書をしまう場所がディレクトリー・ファイルの場所を示す方法 ・ハードディスクの構造と記録方法・フラグメンテーション・ＲＡＩＤはハードディスクの合体技 ・ＯＳの役割・アプリケーションソフトの分類	a:コンピュータの５大装置がどのようなもので、それぞれが連携していることを理解している。「進数」という考え方やデータ容量などを表す単位を理解している。ハードディスクの物理的な構造と領域の概念を理解している。ＯＳやアプリケーションについて、理解を深めている。 b:コンピュータにデータを入力して確認する。１０進数と２進数との変換、２進数の演算ができる。実際にファイルとディレクトリーを作成できる。ハードディスクの領域と容量に関する計算ができる。ＯＳやアプリケーションについて、理解を深めている。 c:改めて興味を持って取り組んでいる。日常的に接している画像・音声データについて標本化と量子化から捉えている。ＲＡＩＤの手法について興味を持って理解しようとしている。日常的に使っている様々なソフトウェアを再認識している。	小テスト 定期考査	定期考査 提出課題	提出課題

2学期	表計算ソフト データベース ネットワーク セキュリティ システム開発 システム周りの各種マネジメント プログラムの作り方	・表は行・列・セルでできている ・相対参照と絶対参照 ・関数で、集計したり平均をとったり自由自在 ・「もし○○なら」と条件分岐するＩＦ関数 ・ＤＢＭＳと関係データベース ・主キーと外部キー ・論理演算でデータを抜き出す ・排他制御 ・トランザクション管理と障害回復 ・ＬＡＮとＷＡＮ ・プロトコルとパケット ・ネットワークを構成する装置 ・ＴＣＰ／ＩＰを使ったネットワーク ・ネットワーク上のサービス ・WWW ・電子メール ・ネットワークに潜む脅威 ・ユーザ認証とアクセス管理 ・コンピュータウィルスの脅威 ・ネットワークのセキュリティ対策 ・暗号化技術とディジタル	a:表計算ソフトの操作、基本的な関数を理解している。データベースとは何かを理解している。ネットワークのしくみやプロトコル、ハードウェアについて理解している。情報社会でネットワークを安全に利用するための知識を習得している。システム開発とは何かを理解している。システム開発に関連した様々な知識を習得している。プログラムとは何かを理解している。 b:実際に表計算ソフトを使ってセルのデータのコピーや関数の設定ができる。データの正規化・主キーの設定ができる。ネット検索やメールの送受信ができる。セキュリティ対策について自分自身のこととして捉えている。クリティカルパスを理解して作業日数の計算ができる。アルゴリズムを理解してフローチャートを作成できる。 c:表計算ソフトとの違いを興味を持って理解しようとしている。日常的に接しているネットワークについて知識を深めようとしている。セキュリティに関する知識を意欲的に習得しようとしている。ＡＴＭやコンビニエンスストアの端末などをシステムという観点から捉えようとしている。マネジメントの概念を、興味を持って理解しようとしている。興味を持ってプログラミングを理解しようとしている。	小テスト 定期考査	課題提出 定期考査	課題提出 観察

		署名 ・システム開発をする流れ ・システムの開発手法 ・業務のモデル化 ・ユーザーインタフェース ・コード設計と入力のチェック ・テスト ・プロジェクトマネジメント ・スケジュール管理とアロー　ダイアグラム ・ＩＴサービスマネジメント ・システム監査 ・プログラミング言語とは ・構造化プログラミング ・変数は入れ物として使う箱 ・アルゴリズムとフローチャート ・代表的なアルゴリズム ・データの持ち方				

3学期	システム構成と故障対策 企業活動と関連法規 経営戦略のための業務改善と分析手法 財務会計はわすれちゃいけないお金の話	・コンピュータを働かせるカタチの話・システムの性能指標・システムを止めない工夫・システムの信頼性と稼働率・転ばぬ先のバックアップ・企業活動と組織のカタチ・電子商取引・経営戦略と自社のポジショニング・外部企業による労働力の提供・関連法規いろいろ・ＰＤＣＡサイクルとデータ整理技法・グラフ・ＱＣ七つ道具と呼ばれる品質管理手法たち・費用と利益・在庫の管理・財務諸表は企業のフトコロ具合を示す	a:システムの保守・点検に関する知識を習得している。企業経営・内部統制、コンプライアンスなどについて理解している。ＰＤＣＡサイクルやＱＣとは何かを理解している。損益計算書や貸借対照表がどのようなものか理解している。 b:性能指標や稼働率に関する計算ができる。日常生活を通して、電子商取引等を理解しようとしている。決定表を読み取ることができる。与えられた課題にブレーストーミングやＫＪ法を実践できる。損益分岐点、先入先出法などの計算ができる。 c:システム管理者になることを想定して意欲的に知識の習得に取り組んでいる。経営戦略や関連法規について意欲的に知識の習得に取り組んでいる。ＱＣに必要な様々なグラフ作成やその分析に意欲的に取り組んでいる。２年次までに習得した簿記に関する知識をもとに意欲的に学習に取り組んでいる。	小テスト 定期考査	課題提出 定期考査	課題提出 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度